

平成26年度第1回川崎区区民会議（全体会議） 摘録

日 時：平成26年4月23日（水）午後6時30分

場 所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 20名

赤間靖夫、新井一成、新井トキ子、荒巻裕子、石渡勝朗、岩瀬絹代、金岩勇夫、
知念ジョアンナ、塚原晴美、寺尾宇一、戸村正房、中村紀美子、埜瀬晴美、朴
昌浩、畑敏雄、原千代子、原田 歩、深瀬欣之助、森脇卓郎、山田義孝、

（欠席者なし）

参与 3人

飯塚正良、坂本 茂、西村くにこ

傍聴 1人

（進行：北沢副区長）

1 開会

- 委員への委嘱状の配付
- 委員の出欠と会議の成立の確認
- 会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明、傍聴者の確認
- 配付資料の確認

2 区長あいさつ

- 平成26年4月から川崎区長に就任しました。本日の区民会議の第5期第1回目の全体会議では、委員長及び副委員長の選出や審議課題の分野の整理が主な議題となります。
- 川崎区は多くの課題がありますが、地域の課題解決に向けて、様々なご意見をいただき、審議を進め、区民の皆様にとってよりよいまちとなることを期待しています。

3 委員自己紹介

- 各委員の自己紹介

4 参与、事務局紹介

- 参与、事務局の紹介

5 区民会議について

- 別紙資料1～別紙資料5を使用し、事務局が区民会議の内容や主な進め方、これまでの取組などを説明した。
- 意見や質問はなし。

6 委員長、副委員長の選出

- 委員長は寺尾宇一委員に決定。(朴委員から推薦)
- 副委員長は新井トキ子委員に決定。(戸村委員から推薦)
- それぞれ選任のあいさつを行った。

寺尾委員長 ただいま委員長に選任された寺尾です。今年は川崎市とともに川崎市も多くの記念行事があります。今年、川崎市は90周年、ミュージア川崎は10周年であり、また、川崎大師が大開帳ということで記念の年となります。ぜひ、皆さんとともに知恵を出しあいながら楽しんでやっていきたいと思

います。よろしくお願ひします。
新井(ト)副委員長 前期に引き続き、副委員長に選任された新井です。前期以上

により形で頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。
飯塚参与 市議会議員の飯塚です。前期はなかなか参加できなかつたが、コミュニティバスの試乗会に参加させていただき、大変感慨深く乗っていました。皆様の提案が一步一步実現に向かつて前進していることを実感しました。駅周辺に観光バスが止められないなどの問題は、議会でも多く議論して、今年は川崎大師の御開帳ということや、工場夜景、映像のまちなど川崎市を観光で盛り上げていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。

(進行：寺尾委員長)

7 議題

(1) 第5期川崎区区民会議の進め方について

第5期川崎区区民会議の進め方について、「資料1：第5期川崎区区民会議の進め方について(案)」及び「資料2：平成26年度川崎区区民会議スケジュール(案)」を使用し、事務局が説明した。特に意見はなく、進め方について全委員から承諾いただいた。

(2) 審議課題の分野の整理について

審議課題の分野の整理について、「資料3：専門部会の運営(案)」及び「資料4：審議課題の分野の整理について」を使用し、事務局が説明した。専門部会の運営(案)について承諾いただいた。審議課題の分野の整理について、主な意見・コメントは以下のとおり。

寺尾委員長 部会を2つに分けて進めていくが、部会の検討内容によって、検討内容が自分のやりたいことと異なる場合は、部会を移動してもよいと思う。何度も行き来されることは困るが、始めの段階では臨機応変に対応することにした。

原委員 第4期のときに、フォーラムで外国人市民が住みやすいまちづくりをテーマに特に防災問題について、様々な立場の方が集まって話し合うことができた。まだまだ積み残しの課題があり、結果が出ずに終わってしまった部分もある。第5期について、部会に分かれることは仕方ないと思うが、関連するテーマが縦割りではっきり分かれるのではなく、分野を超えて話し合える場があるとよいと感じた。

朴委員 代表者会議に参加していたこともあり、そのときも2つの部会に分かれていたが、自分が参加していない部会では何をやっているのかわからず、情報伝達がなかった。部会長同士でコミュニケーションを取るなど、情報交換をすれば議論を円滑に進めることができると感じた。

石渡委員 分野を具体的に考えるとかなり微妙な部分があり、各専門分野で柔軟に対応する必要がある。例えば、「防犯・防火」はA分野に入っているが、B分野に関連する部分もあり、A分野の「地域コミュニティの活性化」も、必ずしもA分野だけでなく、B分野に重なるものもあると思う。そのため、しっかり分野を分けるのではなく、部会に分かれた後、それぞれ広い視点でテーマを決めていけばよい。あまりこだわらない方がよい。

戸村委員 分野を整理し直す必要があると思う。A分野「防犯・防火」の公園の整備は、B分野「子育て」と関連するものである。

寺尾委員長 ひとまずこの分野で決めておいて、部会の検討の中で、分野にこだわらず、広く考えていけばよいと思う。

森脇委員 課題解決のためには、様々な側面から見なくてはいけない必要がある。各自が分野にこだわらず、様々な視点を持っておく柔軟な心持ちが大切である。これはこっちの分野、あれはあっちの分野と必ずしも仕分けはせず、広い視野を持っておくが、とにかく部会に分かれないと審議は進まない。朴委員が言われたように、部会同士の情報交換は重要だと思う。自分が属していない部会の

議事録などをもらえれば、何を検討しているのかがわかり、自分たちが何を考
えていけばよいか明確になる気がする。

赤間委員 A分野に「災害対策」があるが、いざ災害が起きた時に援護しなけれ
ばならない対象として、高齢者や子ども、障害者などが関係する。しっかり
分野を分けることはできないため、関連性を持ってやっていきたい。

寺尾委員長 分野は様々な関連性があるため、テーマを絞りながら特化するもの
は特化して、様々な視点で進めていけばよい。

金岩委員 一定の目安として分野の整理について事務局案を承諾して、あとは
部会長の判断だったり、部会の中で、どういったことを取り上げるのか考え
ていたりすればよいと思う。

寺尾委員長 ではどちらの分野がよいか決めたい。挙手をお願いしたい。

A分野：赤間委員、新井（一）委員、岩瀬委員、金岩委員、塚原委員、
寺尾委員長、戸村委員、埜瀬委員、原田委員、深瀬委員
B分野：新井（ト）副委員長、荒巻委員、石渡委員、知念委員、中村委員、
朴委員、畑委員、原委員、森脇委員、山田委員

原委員 部会の日程などの情報を提供いただいて、自分の属する部会ではない
部会の会議に参加できる人は参加するということはできないか。

原田委員 第1期と第2期のときにそういった話が出た。発言はできないとし
ても出席して傍聴することはできないか。また、会議の最後に他部会の参加
者からご意見をいただくといったことにすれば、お互いの内容も把握できる。
書類などの配布は事務局が大変になると思う。

寺尾委員長 その方法はよいと思う。

朴委員 他部会の会議に出席できない場合もあるため、議事録は欲しい。

8 その他

- ・ 専門部会の6月上旬頃別日程で開催する。別途後日日程調整をする。
- ・ 第1回の専門部会では、部会長、副部会長の選出、具体的な審議課題の選定、
部会名の決定などを主な議題とする。

9 閉会

坂本参与 皆様ご議論お疲れ様でした。本日のお話を聞いていて思い出すことがあって、平成15年から平成17年の議会で議長を務めているときに、区民会議立ち上げの話がありました。しかし、当時区民懇話会という会議があり、何が違うのだといった議論が多くなされていたが、当時の阿部市長の熱烈な要望により、決定されて、条例化されて、平成18年から区民会議が始まったという経緯があります。区民会議で最も大切なのは、区民にとって身近なテーマをしっかりと議論していくということだと思います。これからもよろしくお願ひします。

西村参与 前期から何回か参加している西村です。皆様の議論を聞いていて、特に分野の分け方や、様々に重なる部分があるということはごもっともな意見だと思います。議会などでもよく縦割りといったことで、煩わしい部分も出てくるのですが、この区民会議ではそういった分野の分けなどは気にせず、これもあれも全部やっていくといった気持ちで取り組んで頂ければと思います。先程のお話を聞いていても、やることが多いから他の部会に押し付けようという方は誰一人いなくて、これもやりたい、あれもやりたい、だからどちらの部会にするか迷うといった前向きな方ばかりで、今後の議論に大いに期待が持てると感じました。今後よろしくお願ひします。

北沢副区長 長時間にわたる審議ありがとうございました。専門部会の進め方については少し工夫をしながら進めていきたいと思ひます。

大谷区長 長時間にわたる審議ありがとうございました。出席してくださった参与の皆様もありがとうございました。区民会議は区民の皆様との協働で地域課題を解決するための会議です。様々な課題をどのように解決していくか、それをどう実現するのか、行政や区民の皆様のご役割を把握しながら真剣に議論できればと思ひています。また、ここでの議論が具体的な形となつてつながらっていくことが望ましいと思ひます。

実際に私は10年前に、市民健康の森事業をやらせていただき、当時、地方分権の中で市民の皆様とどのような形で合意形成が図れるか、また、自己責任のもとで事業展開ができるかどうかなどある意味では社会実験的な面もありました。今考えると、当時は区民会議のような成熟した議論が成り立たないのが現状でした。行政と区民という対立軸ではなく、お互いに腹をわって一緒に問題を解決していくということを経験できました。そういった体験を経て、本日の区民会議の議論を拝見しました。行政も区民の皆様も第1期から第4期を経験して、非常に成熟してきたのではないかと感じています。こういっ

かいぎ、ぎょうせい、くみん、みなさま、たが、しんらいかんけい、も、と、く
た会議は、行政と区民の皆様がお互いに信頼関係を持って取り組まなければ
けっか、で、おも、しんらいかんけい、こうちく、わたしじしん、ぎょうせい、くみん
よい結果は出ないと思います。信頼関係を構築するには、私自身、行政が区民
みなさま、あせ、み、ほんらい、すがた、おも
の皆様は汗を見せるということが本来あるべき姿だと思っていますので、
かわさき、く、しよくいん、いちどう、と、く、こんご、ねが
川崎区職員一同しっかり取り組んでいきますので、今後ともよろしくお願
いします。

へいかいせんげん
■閉会宣言

ごごじふんへいかい
午後8時15分閉会

いじょう
(以上)